

今月のテーマ：松之山の春！満載号

春の芽吹きや鳥のさえずり、山菜採り…松之山の最高の季節がやってきました。田植えの準備も始まり、今年も地域の皆さんから松之山の春の仕事や楽しみ方をたくさん教えてもらっています。浦田の菜緒さんも育休から明け、松之山の協力隊はこの春から5人で新たなスタートです！

布川地区

誤しながら一緒に作った作品です。



合で試行錯誤しながら一緒に作った作品です。

「うん、やってみよう！」という具合で試行錯誤しながら一緒に作った作品です。



TSUKUROI CHIKAKO
布川てしごとカフェ
担当 志水 八千代

昨年春から始めたことのひとつに地域に咲く花を使ったドライフラワー製作があります。

私がドライフラワーを作ろうと思ったのは、地域の皆さんがお庭で育てている花があまりにも綺麗だったから、これで一緒に何かできないかなと思ったことがきっかけです。布川カフェでハーバリウム(植物標本)の講座などをするうちに、上鰯池のイトさんから「うちの庭に咲いてるお花でハーバリウムが作れないかしら。誕生日のお祝いのお返しに贈り物をしたいから。」とお話をいただきました。庭に新しい花が咲くと電話がきて「これはドライフラワーにできるかしら?」「うん、やってみよう!」という具合で試行錯誤しながら一緒に作った作品です。

「私は、子ども三人連れてこの土地にひとり来ようっていうあなたの心意気に惚れたのよ」と、そんな嬉しいことを言ってくれるイトさん。この土地に来て歳の離れた女友達ができて、こんな風に色々お話できることが何より嬉しいです。一緒に作業をしながらたくさん昔話を聞かせてくれて、こういう年齢の重ね方ができたらいいなと、私のほうこそいつも惚れ惚れしています。

さて、三月に布川カフェでお披露目をしたつるしびなのですが五月十四日〜二十一日に段十ろうで開催される「きもの街のキルト展」で再び飾られることになりました。団体名は「TSUKUROI つくろう」布川てしごとカフェ」としました。よかったら段十ろうに足を運んでみていただけると嬉しいです。

五月以降は、てしごとカフェの他にもお料理や体を動かす運動系のイベントも開催していく予定です。山菜パーティーをしたいという声が上がっているので計画したいと思っています。



松之山かわら版

Matsunoyama Kawaraban

Vol. 04

2023年5月

編集

志水八千代
ローラン・アントワヌ
上村祥太郎
平本大輔
平本菜緒

「松之山かわら版」は、松之山の地域に所属している地域おこし協力隊の活動広報誌です。

黒倉集落



黒倉生産組合の育苗作業から学ぶ農業
担当 上村 祥太郎

雪がだいぶ溶けてきた4月、黒倉集落では育苗作業で忙しくなります。黒倉で育苗作業を受け持つのが「黒倉生産組合」。浸種の作業から床土・覆土作り、播種、そして各農家の苗代までの苗出しまでを行います。私もその仕事で忙しくさせて頂きました。

黒倉生産組合の育苗作業に関わらせていただく中で集落の方々の会話から沢山の学びを得ました。生産組合があることで、施設や機械の共同利用で農家個人のコストを大幅に下げられること、農家の知見を共有できること、多面的機能支払交付金をはじめとする行政の支援が受けられることなど、沢山あります。

一方で、チームで動くからこそ難しい部分もあるのかと学ぶこともありました。例えば育苗作業は昔から「苗半作(意味：苗を育てるまでで、半



△育苗機を組み立て。播種に向けて準備を行う。



△播種機のチェック。

分その植物を作り終わったようなもの。つまりそれくらい育苗は重要な工程だということ)「という言葉もあるくらい重要なので、作業の中でも様々な考え方・やり方が生まれます。しかし生産組合としてチームで動くわけですから、どれだけ意見があってもどれか一つの方法で行わなければなりません。こうした意見の違いは育苗作業以外にも組織運営の中では必ず生まれます。その中で、各農家は自分の利益と組織の利益のバランスをとって行動する必要があります。

自然との関わり方、他農家との関わり方、そして農家として生き残るための経営方法、様々な方向から農業について考える良い時間でした。

浦田地区

育休が明けて間もなく農作業のお手伝いをさせていただきましたが、1年間あまり身体を動かしていませんでした。私にとっても、この最初の冬は本当に素晴らしかったです。真っ白な風景、顔を揺らす雪の結晶、そして鷹の湯の塩水に地球の中心で暖められました。この冬が一番好きな季節だと思いましたが春が来ました。葉の茂った木々に芽が現れ、カエルの鳴き声、雪が引いてふきのとうが贈り物として降臨します。松之山の方々に春は忙しいと言われましたが、同じように私は信じなかったです。美人林の森森市が開きますが山から山菜を取りに行く人が少ないようでぜひ取りに行ってみてください！でも家に帰るとふきのとうがたくさんあつて取り切れない、残念です。天ぷらに間に合わなかったです！



1年ぶりの協力隊活動
育休から復帰！
担当 平本 菜緒

皆さんはじめまして。令和3年の4月から、夫の大輔と一緒に浦田の協力隊に着任した平本菜緒と申します。去年の4月に第一子を出産し、今年の3月までは育休をいただいていた。4月から協力隊に復帰して活動しています。よろしくお願ひします。(4月の松之山は一気に地域全体が活気づく感じがしてとても好きな季節です。良い季節に活動復帰できてとてもうれしく思います！)



△家の前の田んぼ



△元気村4月のお弁当



△苗代作りのお手伝い

5月は農作業のお手伝いのほかに、浦田で受け入れている田舎体験のお手伝いなどもさせていただきます。今月も元気に頑張ります♪

良いところだなあと感じます。山菜といえば、元気村お弁当作りのお手伝いにも1年ぶりに参加させていただきました。4月のお弁当はごみ、ふき、わらび…と山菜がたっぷり入った春満載のお弁当で、とても美味しかったです。今回も大盛況で215食作りしました!!

川手地区



春は忙しい！
担当 ローラン・アントワーンヌ

冬になると、松之山の方々に雪がたいへんだと言われました。正直話せば、私は彼らを信じていませんでした。私にとって、この最初の冬は本当に素晴らしかったです。真っ白な風景、顔を揺らす雪の結晶、そして鷹の湯の塩水に地球の中心で暖められました。この冬が一番好きな季節だと思いましたが春が来ました。葉の茂った木々に芽が現れ、カエルの鳴き声、雪が引いてふきのとうが贈り物として降臨します。松之山の方々に春は忙しいと言われましたが、同じように私は信じなかったです。美人林の森森市が開きますが山から山菜を取りに行く人が少ないようでぜひ取りに行ってみてください！でも家に帰るとふきのとうがたくさんあつて取り切れない、残念です。天ぷらに間に合わなかったです！



△お米作り

集落のお母さんたちに畑仕事を習いたいです。彼らの畑は黒くて肥沃な土壌で素晴らしい、温室では若い新芽が育っています。私の畑に戻る茅でいっぱい、毎日非常に苦労して一つを引抜き抜こうとしています。どうして私の種子はまだ成長していないのでしょうか！雪解けの田んぼは徐々に風景に溶け込んでいきます。私はぜひお米作りを手伝って学びたいと思っています。下川手集落の方々は私に田んぼを貸してくれました。無農薬でお米を作りたいのですが、地元の人に草取が大変と言われました。もちろん私は信じられませんが、浴室で塩水、台所で温湯消毒、玄関で浸種、にすでに圧倒されています。ところで蜂の巣を受け取りました。蜂蜜を作りたいのですがもう暗くなりました。明日やろうかな！最終的に地元の方々は正しかったかもしれません。やっぱり春は忙しくなりそうです！